

GP328 GP338 用
車載アダプタ(Vehicle Adapter)
取扱説明書
《12V/24V車共用》

本体:ENLN4101
セット番号:EN1006(VHF用)
EN1007(UHF用)

車載アダプタの詳細と価格は

モトローラ無線機 プレミアディーラー

株式会社トowa



無線機のトowa

検索

トップページ <http://www.towa-inc.net/>

GP328 <http://www.towa-inc.net/1f/5f/gp328-o.htm>

GP338 <http://www.towa-inc.net/1f/5f/gp338-o.htm>

<http://www.towa-inc.net/1f/5f/en1006.htm>

本 社

〒583-0991 大阪府南河内郡太子町春日98-362

tel 0721-98-1317 fax 0721-98-1373 mail@towa-inc.net

日本橋ショウルーム

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4-17-9

tel 06-6632-5115 fax 06-6632-5110

はじめに

このたびはモトローラの携帯無線機 GP328/338 用車載アダプタ (Vehicle Adapter) をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

携帯無線機 GP328/338 用車載アダプタの標準的な操作方法について説明した取扱説明書です。ご使用前に必ずお読みください。

ご注意

- ・通話は無線局免許状に記載されている目的、通信の相手方および通信事業の範囲内で行ってください。ただし人命の救助、洪水、火災などの災害時に、人命にかかわる通信を行うときはこのような制限はありません。
 - ・他人から頼まれて通信したり、他人の用件のために無線機を貸して使用することは電波法令で禁じられています。
 - ・他人の通話を聞いて、これを漏らしたり悪用することは電波法令で禁じられています。
- 本文中の「危険 / 警告 / 注意」の意味は次のようになっています。

危険！	この表示は「人が死亡又は重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
警告！	この表示は「人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
注意！	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物的障害の発生が想定される内容」を示しています。
お願い	性能を十分発揮できるように、お守りいただきたい事項です。

安全上のご注意

安全で効率的な操作を行う上で重要な情報です。携帯無線機 GP328/338 用車載アダプタをご使用になる前に以下の注意をお読みください。

無線を安全かつ効率的に操作するために、以下の指針をお守りください。

携帯無線機 GP328/338 の電源が ON になっているとき、無線周波 (RF) エネルギーを送・受信しています。周波数は 142MHz 帯 (VHF) から 470MHz 帯 (UHF) の範囲を使用し (機種によって範囲が異なります)、通信する際に制御装置が無線機の送信出力を制御します。出力レベルは 1W から 4W (UHF) / 1W から 5W (VHF) の範囲です。

無線周波数における電磁波の照射

1996 年 8 月、アメリカ連邦通信委員会 (FCC) は「報告命令書 FCC96-326」の決定に基づき、FCC の許可した無線機から照射される電磁波を人体が受ける際の安全基準について新基準を採用しました。

さらに、非電離放射線防護国際委員会 (ICNRP) は、無線周波数の照射ガイドラインを含む基準を定めました。

モトローラの携帯無線機 GP328/338 は、こうした基準に適合しています。

警告！

必ず、下記警告事項をお読みになってからご使用ください。

運転中のご利用について

自動車運転中の無線機利用については、その地域での条令などをご確認ください。自動車運転中に無線機をご使用になる場合には、安全な場所に車を停車させてから無線通信を行ってください。交通事故の原因となることがありますので、運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。

爆破地域および引火・爆発性のある危険地帯

爆破区域内および可能性のある危険地帯で、無線機を本体のまま使用すると爆発物への引火の危険性をともなうので、無線機の電源を OFF にし、絶対に使用しないでください。無線機を使用する場合は車載アダプタから無線機を取り外し、必ず指定のケースに入れてご使用ください。またバッテリーの交換やバッテリーの充電もしないでください。無線機あるいはその付属品によりスパークが発生し、引火・爆発を誘発する危険性があります。

引火・爆発の危険性がある大気状態

引火・爆発性ガスなど大気状態に引火・爆発の危険性がともなう区域で、無線機を本体のまま使用すると爆発物への引火の危険性をともなうので、無線機の電源を OFF にし、絶対に使用しないでください。

また防爆仕様の無線機を使用する場合は、必ず指定のバッテリーを使い指定の皮ケースに入れてご使用ください。またバッテリーの交換やバッテリーの充電もしないでください。無線機あるいはその付属品によりスパークが発生し、引火・爆発を誘発する危険性があります。

危険地域には石油コンビナート、船舶のアンダーデッキ、燃料や化学物質の輸送・貯蔵施設、穀物・粉塵、金属粉などの微粒子や化学物質などが空気中に含まれている区域などが含まれます。また、無線機やその付属品の置かれた車内・船内や室内に、可燃性の気体や液体、あるいは引火・爆発の危険性をもった物を載せて輸送したり保管したりしないでください。

その他使用にあたって

車載アダプタは直接水のかかる場所や湿気の多い所で使用したり、濡れた手などで本機をご使用になると故障の原因となる場合があります(雨天、降雪、海岸、水辺などでの使用にはご注意ください)。

医療用および個人用電子機器との混信

医療用および個人用電子機器のほとんどは、電磁波からシールドされています。ただし、十分シールドされていない電子機器については、無線機からの電磁波の影響を受ける場合があります。

アンテナから 15cm 以内のところにもこれらの機器や他の人がいる場合、無線通信などの操作を行わないでください。

シールドされていないペースメーカ、補聴器などの個人用電子機器には、影響をおよぼす可能性があります。医療施設内や人と人が近接する場所では、医療施設内の各種医療機器や計器あるいは個人の医療電子機器などに影響をあたえる可能性があるため、無線機の電源を OFF にし、無線機を使用しないでください。詳しくはそれぞれの製造メーカーおよび販売店にご確認ください。

その他電子機器との混信

正しく設置されていない、また、十分にシールドされていない自動車の電子操作系統や娯楽用機器など、電磁波によって影響を受ける場合があります。それぞれの製造メーカーまたは販売店に、これらの設備が外部からの電磁波から適切にシールドされているかどうかご確認ください。また、自動車などに別途追加した設備についてもご確認ください。

航空機内での運用は、航空機の各種装置や計器に影響をあたえる可能性があるため、無線機の電源を OFF にして、無線機を使用しないでください。

無線機本体について

火災や感電故障の原因となりますので、分解や改造は行わないでください。通信に支障をきたすほか電波法令に違反します。

付属品およびアンテナについて

付属品については弊社販売店にご相談のうえ正しく取り付けてください。

バッテリー、充電器など周辺機器については必ず専用の物をお使いください。社外品や規格外の物を使用した場合発熱や発火、故障の原因となります。

アンテナについては付属品のアンテナをご使用ください。取外して基準を満たしていない他のアンテナや、他の部品を付け加えるなどの改造をしたアンテナを使用した場合、通話品質を損ねたり、無線機本体に支障をきたすほか電波法令に違反します。またアンテナが破損した場合、その状態のまま無線機を使用しないでください。破損部分が人体等に触れたまま使用した場合、人体に損傷をきたす場合があります。

エアバック付きの自動車について

エアバックは激しい勢いで膨張します。エアバック周辺ならびにエアバックの広がる範囲内に車載アダプタを設置しないでください。車載アダプタやアクセサリが適切な場所に正しく設置されていないと、エアバックが膨張した際に通信機器やアクセサリにより直接又はエアバックそのものの損傷により人体を損傷する可能性があります。

また、エアバックの寸法、形状、広がる範囲などは自動車の型式や車種によって異なりますので、自動車製造メーカーおよび自動車販売店までご相談ください。

注意！

必ず、下記注意事項をお読みになってからご使用ください。

異常に温度が高くなる場所や直接雨や水のかかる場所に設置しないでください。変形や故障の原因になる場合があります。

直射日光の当たる所(自動車内)や高温になる所、極端な低温環境に車載アダプタを設置しないでください。変形や故障の原因になる場合があります。

接続端子に金属片等が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因になる場合があります。

強い衝撃をあたえたり、投げ付けたりしないでください。

アンテナが破損することがありますので、無線機を持つときはアンテナの部分をつかまないでください。

取扱い上のお願い

電源端子・充電端子をときどき乾いた綿棒などで、清掃してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。

車載アダプタを直接、洗剤の溶液の中に入れるようなことは絶対にしないでください。

溶剤などで清掃すると、車載アダプタを傷つけたり破損したりすることがあります。

目次

使用上の注意	4
1.0 イントロダクション	4
2.0 ご利用の前に	5
2.1 標準構成	5
2.2 準備	5
3.0 車載アダプタ操作方法	6
4.0 車載アダプタ LED 表示	7
4.1 ラジオモード LED 表示(上部 LED)	7
4.2 充電 LED 表示(下部 LED)	7
4.3 トラブルシュート	8
5.0 仕様	9

使用上の注意

- ・ 本製品は、屋外でご使用はできませんので、必ず車内(室内)でご使用ください。
車中(室内)においても、扉等の開閉により雨、雪等の水分がかからない位置でお使いください。
- ・ ヒューズ交換が必要な場合、弊社指定の規格の物をご使用ください。
- ・ 車載アダプタは、周囲温度60℃を超える環境では使用しないで下さい。
- ・ 車載アダプタに、指定されたパーツ、無線機以外を挿入しないでください、故障の原因となります。

1.0 イントロダクション

本製品は、弊社携帯用無線機GP328/GP338専用の車載アダプタです。本製品は12V、24V車に対応しており、車外でお使いになった無線機に車のバッテリーから給電、充電することができます。

バッテリースペースとの組み合わせにより、3つのサイズのバッテリーに対応することができます。(表1参照)
また、付属の外部マイク、オプションの外部スピーカ等を組み合わせることにより、車携帯型の環境を構築することができます。(図2、表2参照)

詳細説明及び、設定、取付けは弊社販売店にご依頼ください。

スペース枚数	適応バッテリー(電池)	使用ネジ
なし	大容量ニッケルカドミウム電池(HNN9012) 特大容量ニッケル水素電池(HNN9009)	標準13mmネジ
2.5mm × 1枚(標準)	大容量ニッケル水素電池(HNN9008/PMNN4045)	標準13mmネジ
2.5mm × 1枚 3.9mm × 1枚	リチウムイオン電池(HNN9013)	19mmネジ(スペースキット付属)

表1. バッテリースペースと電池の組み合わせ

注意！)イメージとして誇大に表現していますがスペースは充電端子部の下に差し込むような形で取付けます。

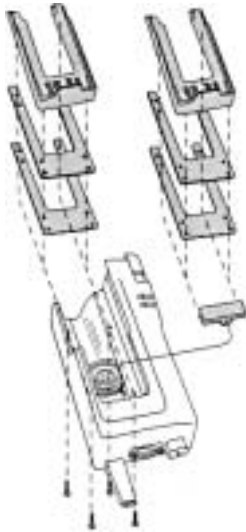


図1. バッテリースペース取付け

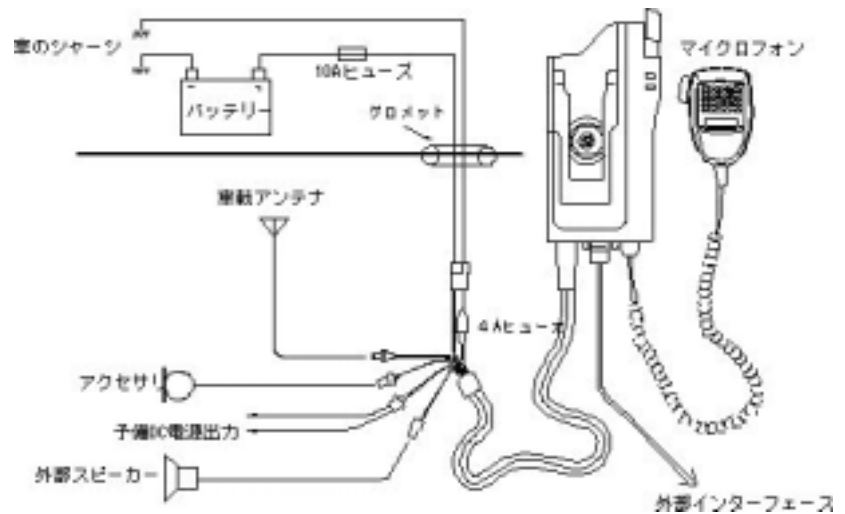


図2. 接続図

用途	組み合わせ	備考
充電のみ	携帯無線機、車載アダプタ本体	標準13mmネジ
充電+車内での使用+通信エリアの拡大	携帯無線機、車載アダプタ本体、付属マイク、外部スピーカ(オプション)、付属RFスイッチ、外部車載アンテナ	外部スピーカ(オプション)は無線機内蔵の音量で不十分な場合、ご使用ください。販売代理店での設定が必要です。通信エリアは車載アンテナの利得により左右されます。

表2. 用途と組み合わせ

2.0 ご利用の前に

無線機と組み合わせてご使用になる前に、下記の点をご確認ください。

2.1 標準構成

- 車載アダプタ本体(バッテリースペース含む)
- マイクロホン
- RFスイッチ・アダプタ(図3参照)
 - RFスイッチ・アダプタは、無線機を車載アダプタに装着した際に、アンテナ出力を外部車載アンテナに切り替えるためのものです。必ず装着してご使用下さい。
 - RFスイッチ・アダプタは、ご使用の無線機の周波数帯により種類がありますので、必ず適切なものをご使用ください。
 - RFスイッチ・アダプタが正しいかどうかは上部のアンテナ取付け口の色を確認することができます。(表3参照)



図3. RFスイッチ・アダプタ

アンテナ取付け口の色	周波数帯
緑色	136MHzから174MHz (VHF)
青色	403MHzから470MHz (UHF)

表3. RFスイッチ・アダプタの種類

2.2 準備

下記手順に従い無線機と車載アダプタの準備、及び確認をしてください。

1. バッテリースペースは適切な組み合わせであることをご確認ください。適切でない場合無線機が挿入できなかったり、充電の不具合、コネクタへの損傷が発生する恐れがあります。
2. 無線機にRFスイッチ・アダプタを取付けてください。(図4参照)
3. 付属のマイクロホンが車載アダプタ下部のモジュージャックにしっかり挿入されていることを確認してください。



図4. RFスイッチ・アダプタの取付け

3.0 車載アダプタ操作方法

車載アダプタに無線機を挿入する前にロックボタンが解除状態(車載アダプタ上部に1cm程、ボタンが上上がった状態)であることを確認してください。ロック状態のまま無線機を無理に挿入しますと、アクセサリコネクタ等に接触させるコンタクトピンを破損する恐れがありますのでご注意ください。

無線機の装着

1. 無線機を車載アダプタの真上より真下へスライドさせてホルダ部分に挿入し、充電LEDが点灯することを確認します。無線機の充電が始まります。

参考)充電のみを目的とするのであれば、「1」の操作だけで終了です。

2. ロックボタンを1回押し、ロック状態(ボタンが車載アダプタ上部面と同じ高さ)にしてください。正しく装着された場合、ラジオモードLEDが「緑」色に点滅、数秒後に点灯状態になります。正しく装着されますと以下の機能切替が自動的に行われます。
 - ・ アンテナの入出力が携帯無線機アンテナから外部車載アンテナに切り替わります。
 - ・ 車載アダプタに取付けたマイクから通信できるようになります。
 - ・ 外部スピーカ(オプション)をご使用の場合、スピーカ出力が内蔵スピーカから外部スピーカに切り替わります。



図5. 無線機の装着

注意！) 無線機の電源スイッチのON/OFFに関わらず、無線機を車載アダプタに挿入した時点で、車載アダプタは充電が開始し常に多少の電流が流れます。車載アダプタは、車のバッテリーから直接電源を取っていますので、車のエンジンを切った状態で、長時間、車を離れる場合は必ず無線機を取り外してください。車のバッテリーがあがる原因となります。

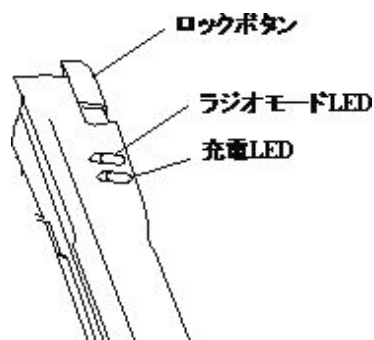
無線機の取り外し

1. ロックボタンを1回押し込むと、ロックが解除されます。
2. 無線機を車載アダプタの真上方向に引き抜いてください。

注意！) アンテナ部分をもって無線機を引き抜かないで下さい。アンテナ、無線機アンテナコネクタ部が損傷する恐れがあります。

4.0 車載アダプタ LED 表示

下記の LED 表示の確認により、車載アダプタ及び、無線機の状態を確認することができます。



4.1 ラジオモード LED 表示(上部 LED)

LED色	状態
緑点灯	車載アダプタに無線機が正しく装着されていて、電源がONとなっている
赤点灯	無線機が送信状態
消灯	無線機が正しく装着されていないか、ロック状態でないか、無線機の電源がOFFの状態

4.2 充電 LED 表示(下部 LED)

LED色	状態
緑点滅(約3秒間)	無線機バッテリーとの接続確認中
赤点灯	急速充電状態
赤点滅	バッテリーエラーまたは、充電エラー
橙点灯	トリクル充電状態(90%充電完了)
緑点灯	充電完了(満充電)
橙点滅	バッテリー電圧が非常に低い バッテリーの温度が充電可能温度範囲(-10 ~ 45)に入っていない 備考:上記状態であっても、適用範囲に入ると自動的に通常の充電を開始します。
消灯	バッテリーを認識していない状態

注意！)バッテリーに関する取り扱いの詳細は、無線機付属の取扱説明書をご参照ください。

4.3 トラブルシュート

常に快適にお使いいただくために

- ・ 定期的は無線機のアクセサリコネクタ、バッテリー、車載アダプタのピンの状況を確認してください。汚れている場合にはきれいにしてください。
- ・ 無線機とバッテリーは、常に車載アダプタに正しく装着するようにしてください。

ラジオモード LED が点灯しない

1. 無線機とバッテリーが正しく装着されているかを確認してください。
2. 車載アダプタのロックボタンが押し込まれている状態で、車載アダプタが無線機のアクセサリコネクタと接触している事を確認してください。
3. 無線機の電源が入っている事を確認してください。
4. 無線機と車載アダプタが、汚れによりうまく接触していない場合があります。無線機のアクセサリコネクタ、車載アダプタのコンタクトピンを清掃して再度正しく取付けてください。

橙色の充電 LED が点滅する

無線機が車載アダプタに装着されている状態で橙色の LED が点滅している場合、バッテリーは充電されていません。以下を確認してください。

1. 無線機が正しく車載アダプタに装着されているか確認してください。
2. バッテリーコンタクトが汚れていたり、異物が付着していないかを確認してください。または、バッテリー下部の4つのバッテリーコンタクトを清掃し再度装着してください。

注意： 以下の場合、急速充電は行われません。

- ・ 温度が 10 以下、または 45 以上の場合
- ・ バッテリーの電圧が、適用範囲に入っていない場合

バッテリーを保護するために、急速充電を行う範囲は+5 ~+45 となっています。また、-10 から 5 の間で充電制限がかかります。

赤色の充電 LED が点滅する

無線機が車載アダプタに装着されている状態で橙色の LED が点滅している場合、バッテリーは充電されていません。以下を確認してください。

1. モトローラ純正の充電式バッテリー (P4 表 1. バッテリースペーサと電池の組み合わせ 参照) が使用されているか確認してください。
2. バッテリーコンタクトが汚れていたり、異物が付着していないかを確認してください。または、バッテリー下部の4つのバッテリーコンタクトを清掃し再度装着してください。
3. 赤色の LED が点滅し続ける場合には、バッテリーを交換してください。

充電の LED が点灯しない

1. 無線機が正しく車載アダプタに装着されているか確認してください。
2. バッテリーコンタクトが汚れていたり、異物が付着していないかを確認してください。または、バッテリー下部の4つのバッテリーコンタクトを清掃し再度装着してください。
3. 上記を行っても LED が点灯しない場合にはバッテリーを交換してください。

サービス

金属のコンタクト(バッテリーコンタクトまたは、コンタクトピンなど)の清掃を除く、車載アダプタに関するメンテナンス、修理はお買い求めの販売店にご相談ください。

5.0 仕様

モデル: EN1006 車載アダプタVHF (136-174 MHz)
EN1007 車載アダプタUHF (403-470 MHz)

入力電源電圧: 31.2Vdc ~ 10.8Vdc(通常の12V あるいは24V の自動車バッテリー範囲)

ヒューズ: 4A(瞬間溶断タイプ)

使用温度範囲: +55 ~ -25

寸法: 約H 25cm × W 10cm × D 8.5cm(携帯無線機、ケーブルは除く)

重量: 約800g(携帯無線機は除く)

スピーカ出力: 最大5W(4)

アンテナ出力: BNC コネクタ

アフターサービスについて

無線機は定期的に、お買い求めの販売店で点検されることをおすすめします。

(1) 保証期間

(i) 無線機本体

保証期間は、お買い上げより1年間です。正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、お手数ですがお買い求めの販売店までご連絡ください。当社修理規定に基づき、無償で修理いたします。

(ii) バッテリー

保証期間は、お買い上げより1年間です。正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、お手数ですがお買い求めの販売店までご連絡ください。無償で修理いたします。
なお、交換品の保証期間は、交換時期に関係なく、最初のお買い求めより1年間が無償保証期間となります。

(iii) その他のアクセサリ

保証期間は、お買い求めの販売店にご確認ください。

(2) 保証期間経過後の修理

お買い求めの販売店にて修理(有償)いたしますのでご相談ください。

メモ

お買い求めの販売店をご記入ください。
お客様が保証をお受けになる重要な窓口です。必ずご記入ください。

製品およびアクセサリ等については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

モトローラ・ビジネスユニット



カタログ等のお問い合わせは、モトローラ・カスタマーセンターへ 0120-549-533

本社 東京都目黒区中目黒4-8-8

ホームページ URL <http://motorola-bizunit.jp>

仕様は改良等のため、予告なしに変更することがあります。

モトローラ、MOTOROLA、モトローラのロゴマークおよび R表示が付された商標は、米国およびその他の国における Motorola, Inc. の登録商標です。文中に記載されているモトローラ及び他社の製品名、サービス名等は、各社の商標または登録商標です。

本製品は「外国為替及び外国貿易管理法」(日本)及び「米国輸出管理規則」による規制を受けますので当製品を輸出する場合は、同法に基づく手続きが必要です。

発行元 株式会社スタンダード 東京都目黒区中目黒4-8-8

c2008 STANDARD Co., Ltd